



もずく酢早食い競争



減塩みそ汁振る舞い

若手漁師や漁業関係者で構成された「中泊活ハマクラブ」(代表・宮下一也)が9月22日(日)に、小泊漁港内おまつり広場で「第6回活ハマまつり」を開催しました。町内外から大勢の来場者たちが集まり、活イカ釣り体験や新鮮な魚貝類を購入して楽しんでいました。ステージでは、こども園こどまりの園児たちによるオープニングダンスに始まり、もずく酢早食い競争、イカ皮むき競争などで盛り上がっていました。

またこの日は、食生活改善推進員、小泊漁業協同組合と下前漁業協同組合の婦人部、町民課が健康ブースを開設して減塩食試食コーナーや、血圧・血管年齢測定などを行い、健康づくりをPRしました。

この減塩食の提供は、第一次産業従事者の健康づくりを目的とする「なかどまりアグリヘルスアップ事業」検討委員会で意見が出され、食生活改善推進員、小泊・下前漁協婦人部のみなさんで考えた、具だくさんの「減塩・元気・頑張る 3Gみそ汁」が提供されました。試食した来場者からも好評で、地域全体で健康づくりを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

体動かし、津鉄にも乗って、風景を楽しむ

第9回大沢内
ため池ウォーキング

今年も秋の大沢内地区の東北自然道とため池を楽しもうと、9月29日(日)に第9回大沢内ため池ウォーキングが開催されました。この日は、ウォーキング協会会員をはじめとするウォーク愛好家たち約200人が参加しました。

今年、コースに津軽鉄道が組み込まれ、役場前からスタートして津軽中里駅へ向かい津軽鉄道へ乗車し、しばしの間、参加者たちは列車に揺られて車窓からの風景を楽しみました。一行は大沢内駅で降車して、再びウォーキングする、ユニークなコースを歩き進みました。コースはAコース11.5km、Bコース7.5kmの2つで、それぞれのペースにあわせて秋の大沢内地区を歩きました。参加者たちは談笑しながら景色を楽しんでいました。

ゴール後は、お楽しみ抽選会が行われ、新米や海産物、地元野菜のセットなどがあたる抽選会が行われ、自分の番号が呼ばれると笑顔で手を上げていました。参加者した人は「津軽鉄道に乗れて、1度で2度美味しい。抽選会も豪華で、また参加したい」と満足そうに話していました。



大沢内駅で降車する参加者たち



それぞれのペースで進む

